

平成 30 年 5 月 1 日現在

平成 30 年度安全な農林水産物安定供給のためのレギュラトリーサイエンス研究委託事業（追加公募）
お問い合わせ等に対する回答

【フキ中のピロリジジナルカロイド類の低減に関する調査研究】

市販品として入手可能なピロリジジナルカロイドの標準試薬について、分析時の誤差をできる限り少なくするに当たり、推奨する市販品があれば教えてほしい。

純度の保証されたものが市販品として販売されていると考えますので、どのような純度の標準試薬を使用したか明示いただければ結構です。

フキの生産県は広範囲にわたるが、試料とするフキを JA 経由で入手しても良いか。

JA 経由で入手したフキを試料としていただいて結構です。なお、試験研究課題の実施に当たり、JA と研究グループを構成いただくこと、または JA に協力機関として参加いただくことは差し支えありません。応募者側で実施体制も含め御検討ください。

フキを生産者から入手するに当たり、本試験研究課題の背景を説明すると、試料提供の協力を得ることが難しくなるのではないか。

本研究課題を進めるに当たり、背景の説明のために当省担当者が同行することは可能です。

分析法におけるフキの前処理方法は確立されているのでしょうか。若しくは、前処理方法も研究開発項目となりますか。

生鮮のフキのピロリジジナルカロイド類を分析する際の前処理方法は確立されていますので、必要に応じ、独立行政法人農林水産消費安全技術センターから技術移転することができます。調理品等の試料を分析する際の前処理方法については、新たに開発する必要がありますので研究開発項目に含みます。